

人工産卵場を利用したコクチバスの繁殖抑制

福島県内水面水産試験場 調査部
平成16年度事業報告書

1 部門名

水産業－内水面(増養殖)－内水面漁業
分類コード 19-08-22650000

2 担当者

佐久間徹・廣瀬 充

3 要旨

コクチバスの生息が確認され、平成16年度から駆除事業が展開された羽鳥湖において、障害物がなく底質が砂礫の場所(縦10.9m、横5.5mの楕円形)を選定し、コンクリートブロックを8個設置して人工産卵場を造成した。5月28日にブロック設置を行い、その後、3～4日間隔で5回、潜水目視により産卵床の形成と産卵の有無を確認し、雄親魚を小型三枚網(縦0.8m、横1.0m、内網目合6cm、外網目合30cm)で捕獲した。

- (1) 産卵床は6月14日までに14ヶ所形成され、8ヶ所で卵と卵を守っている雄親魚を確認した。産卵床の形成は、ブロック設置から4日後、雄親魚捕獲から6日後及び7日後の計3回の調査時に確認され、雄親魚捕獲から3日後及び4日後には産卵床の形成は確認されなかった。
- (2) 雄親魚捕獲後、産卵床内の卵はそのまま残したが、次の確認時には全ての卵がなくなっており、ウグイ、ギンブナ等の魚類によって捕食されたものと考えられた。
- (3) 人工産卵場は、コンクリートブロックを置くだけで簡単に造成することが可能である。自然の産卵床を探索するのに比べて場所の特定が容易であり、また、雄親魚を捕獲することで繰り返し利用され、さらに雄親魚の捕獲により卵の除去が不要であることから、繁殖抑制のための駆除方法として有効である。

4 その他の資料等

なし